

漫画 de 哲学 第二回（哲学カフェ@名古屋 in カフェ・ティグレ）2014.04.19

テーマ：「**考えるとはどういうことか？**」

進行役：奥田太郎

題材：荒木飛呂彦『ジョジョの奇妙な冒険』第二部（戦闘潮流）第12巻170頁

概略：1986年の連載開始以来30年近くにわたって人気を博する長寿作品。単行本は、通算で110巻にも及び、現在、第八部に当たる作品が連載中。

シーン：“柱の男”カーズは、自ら望んで不老不死・無敵の存在になるが、主人公ジョセフ・ジョースターとの対決の末に宇宙空間に放逐されてしまい、身動きもとれないまま永遠に宇宙を彷徨う状態に陥る。そして、不老不死のカーズは、そのうち「考えるのをやめた」。

取り組んでみたい問い：

- ◎「考えるのをやめる」とはどういうことなのか？（そんなことできるのか？）
- ◎「考えるのをやめた」カーズは、再び考え始めることができるだろうか？
- ◎「考えるのをやめた」カーズは、いったいどのような存在だと言えるのか？
- ◎そもそも「考える」とはどういうことか？（独りで考えることは可能か？）

「人間は一茎の葦にすぎない。自然のうちでもっとも弱いものである。だが、それは考える葦である。かれをおしつぶすには、全宇宙が武装するにはおよばない。ひと吹きの蒸気、ひとしずくの水が、かれを殺すのに十分である。しかし、宇宙がかれをおしつぶしても、人間はかれを殺すものよりもいっそう高貴であろう。なぜなら、かれは自分の死ぬことと、宇宙がかれを超えていることを知っているが、宇宙はそれらのことを何も知らないからである。／そうだとすれば、われわれのあらゆる尊厳は、思考のうちにある。」

（パスカル『パンセ』347）

「では、考えることはどうか。ここに私は見いだす、考えることがそれである、と。これだけは私から切り離すことができない。私はある、私は存在する。これは確かである。だが、どれだけの間か。もちろん、私が考える間である。なぜなら、もし私が考えることをすっかりやめてしまうならば、おそらくその瞬間に私は、存在することをまったくやめてしまうことになるであろうから。」

（デカルト『省察』省察 二）